

# サイバー保育士

## 📄 概要

### 【概要】

サイバー保育士という職業を作る。

### 【背景】

少子化の要因として、子育てのコストが大きな原因である。

そのコスト削減のための、保育園では保育士不足しており、十分な数の園児を受け入れられていない。

保育士は大変さの割に給料が少ない職業というイメージがある。

そこで保育士が十分な給料をもらえる職業となり、より多くの人に保育士となってほしい。

それにより、保育園で受け入れられる園児が増え、育児コストの低減に繋がってほしい。

## 📄 解決したい課題：アイデアで解決したい課題は何で、それをどうしたいですか？

保育士不足の問題。保育士の数を増加したい。

## 📄 解決方法：課題をどうやって解決しますか。骨子を記載ください。

サイバー保育士（ITスキルを持つ保育士）という職業を作る。

サイバー保育士は保育園のIT化を担い、また、企業と提携し、ベビーテックの検証を現場で行う。

それにより企業から検証の報酬をもらい、保育士の給与UPにつなげる。

また最新のベビーテックを利用する保育園に預けることができるということで、保育園の料金が高くても入園希望者が多く集まることや、

「子供が好き」という理由だけでなく、「ITが好き」という理由での応募が増えることを期待している。

さらにIT業界をリタイアした人も保育士となることを期待している。

ベビーテック企業の立場としても、ベビーテックの宣伝に繋がるというメリットがあるため、協力してくれる企業もありそう。

## 📄 類似（独創性）：現在、このアイデアと類似する仕組みがあれば記載ください（検索してみてください）

特に見当たりませんでした。

## 📄 有意性：既に存在する類似の仕組みと比べて、どこが優れていますか（存在している場合のみ記載ください）

## 📄 実現方法：どのように実現するか、できるだけ具体的に記載ください（ファイル添付も可）

基本的には概要・解決方法に記載の通り。

まずは提携自治体・企業・保育園を探し、サイバー保育士のメリットをプレゼンする。

提携先が見つかったら、人材の募集をし、実際にサイバー保育士の運用を始める。

添付サービスの開発なども行う。

### 課題・障壁：実現する上で課題となることは何ですか、それをどうやって克服しますか

十分な給与がもらえるまでは、時間がかかること。

また企業との連携が必要な取り組みであるが、保育園側にはコネやノウハウがなく、どの企業と提携してよいか分からないこと。

解決策：IT企業側から保育園側へ働きかけをする。

### 期間・コスト：実現に必要な費用と期間はどれくらいでしょうか。初期リリースとそれ以降など記載ください

実現に必要な費用：100万円（企業との連携、保育園の広報活動費）

実現に必要な期間：すぐにでも

### 未来像：実現したとき、人々がどのように恩恵を受けて幸せになれるか、理想像をお書きください

サイバー保育士の立場では、給料が多い、「子供が好き」「ITが好き」といったことが仕事になる、というメリットがある。

またIT業界のリタイア後にも再就職可能な職業としての選択肢となることを期待している。

親の立場では、子供の預け先が増えることで、育児コストの低減に繋がり、子育て・出産に前向きになってほしい。

またベビーテック用品の知見が増えるメリットがあり、家庭内の育児コスト削減にも寄与することを期待している。

企業の立場では、ベビーテック製品の検証・宣伝ができることや、リタイア後の再就職先の案内などで安心して働くことのできる企業として認知されるなどのメリットがある。

子どもを預かる人、預ける人、（金銭的に）支える人のそれぞれにメリットのある仕組みとして、サイバー保育士が認知され、出産・子育てに対して前向きな社会となることを願っています。